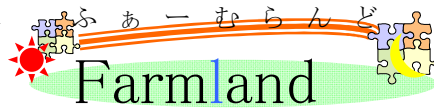




会報



第24号

平成27年6月

技術研修を希望される活動組織はありませんか？

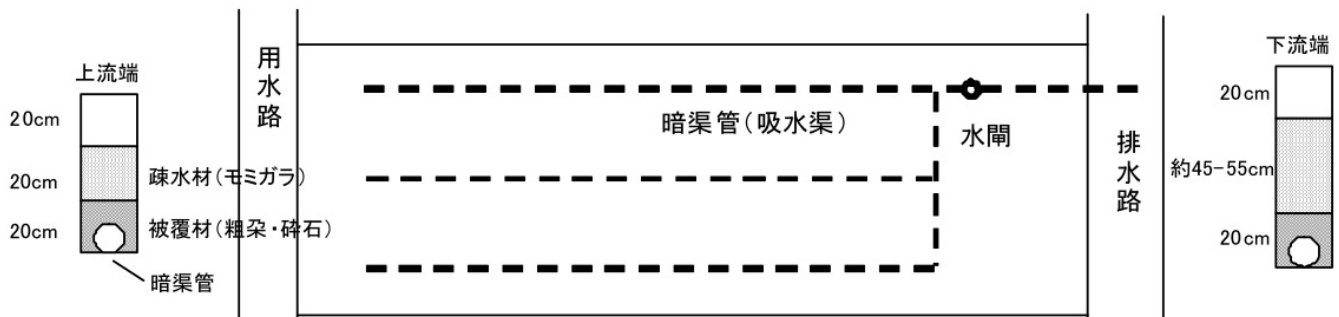
協議会では、平成26年度、県内3ヶ所に於いて、「水路の目地補修研修」を開催致しました。資源向上（共同活動）に取り組んでおられる活動組織については、認定（協定）期間内に研修を受講して頂くことになっております。平成27年度についても、技術研修を開催したいと考えています。つきましては、「こんな研修をしてほしい」という要望がありましたら、市町村又は支援員までお願いします。

以下については、資源向上（共同活動）で取り組むことができる実践活動です。

- 暗渠施設の清掃
- 水路の目地補修
- カバープランツ、防草シート（法面浸食防止）
- 法面への小段（犬走り）の設置

【事例】暗渠施設の清掃

既設の暗渠排水は、地域や施工年度で配置も異なります。暗渠排水が設置してあるかどうかの調査は、水閘の有無でわかりますが、一般的な配置は下図のとおりです。



清掃方法

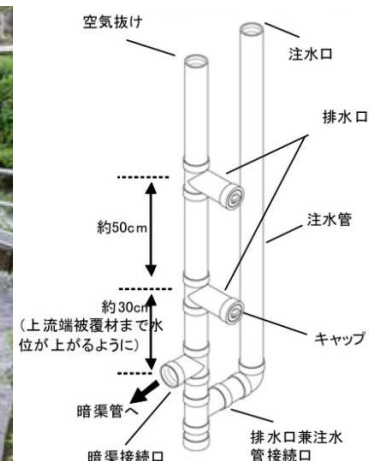
ケース① 水閘の開閉を繰り返し、暗渠排水管に貯留する水で洗浄を繰り返します。

ケース② 水閘出口に立ち上がり管を設置し、洗浄を繰り返します。

ケース③ 吸水渠上流端に立ち上がり管を設置し、給水と高圧洗浄を繰り返します。

ケース④ ③と同時に、既設集水渠を撤去し、新たに既設吸水渠の延長線上に集水渠を直線に設置します。

洗浄装置(開発先:鳥取県農業試験場)



	支援員	問 合 先	電話番号
東 部	小林 孝規	水土里ネットとっとり(協議会事務局)	0857-38-9500
中 部	岡本 俊彦	水土里ネットとっとり倉吉事務所	0858-47-0055
西 部	種田 順治	水土里ネットとっとり米子事務所	0859-32-9710

多面的機能支払と中山間地域等直接支払の両方に取組む場合の注意点

県内の多面的機能支払に取組んでいる活動組織のうち、中山間地域等直接支払にも取組んでいる活動組織があります。その場合、以下につきましてご留意ください。

1. 農地維持に関すること

中山間地域等直接支払の必須事項である農業生産活動等の「**耕作放棄の防止等の活動**」の中から集落の実態に合った活動を二つ以上記載することが必要になります。

2. 資源向上（共同活動）に関すること

中山間地域等直接支払の選択的必須事項である「**多面的機能を増進する活動**」の景観作物の作付、魚類・昆虫類の保護が、資源向上（共同活動）農村環境保全活動と重複しないようにお願いします。

活動組織からの問合せ Q & A

Q. 農地中間管理機構が借り受けている農用地は、交付対象農用地になりますか？

A. 機構が借り受けた農用地が、共同活動により管理される水路・農道等施設と一体となって保全される農用地であれば、当該農用地は交付対象農用地となります。ただし、当該農用地に係る保全活動に対して、機構から委託費又は金銭が支払われる場合、国費の2重払いとなるため、交付対象外となります。

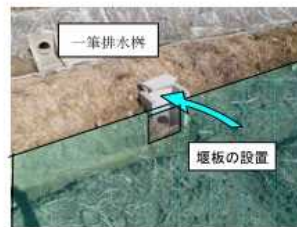
Q. 暗渠排水の効が悪くなっているのですが、交付金でどこまでのことができますか？

A. **資源向上（長寿命化）の中で、水路・農道等の施設の長寿命化のための活動に取り組んでいる活動組織であれば、暗渠排水の補修・更新等ができます。** 県基本方針では、「排水機能が低下している暗渠排水施設の機能回復のための補修・更新を行うこと」が農用地に係る対象活動として記載されています。

水田貯留機能の増進（農村環境保全活動）の紹介

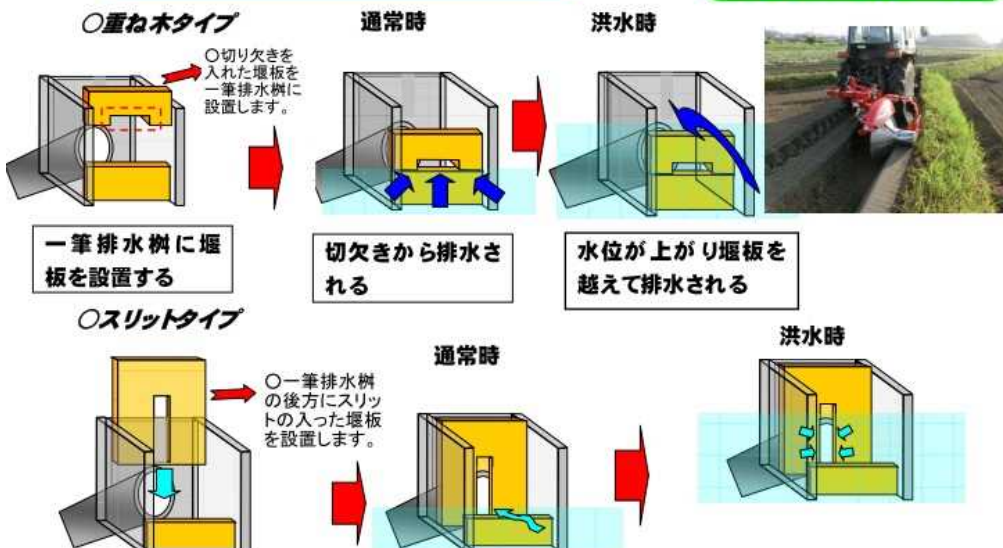
水田貯留の取組方法

- 一筆排水樹に堰板を設置します。堰板を高くすることにより、田んぼに一時的に洪水を貯留します。堰板を作って、排水樹に設置すれば準備完了です。
- あぜが脆弱化している場合は、あぜ塗り機等で補強して下さい。



一筆排水樹に堰板を設置

あぜ塗り機による畦畔補強



水田には雨水を一時的に貯留する治水ダムのような機能が備わっています。水田を維持管理し、少しの工夫をみんなですれば、大きな洪水防止効果が期待できます。